

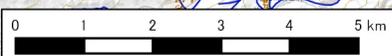
乗鞍岳火山ハザードマップ



この地図には、地質調査等から明らかになった過去の噴火実績をもとに、活火山の定義である「概ね過去1万年以内に噴火した」剣ヶ峰周辺を噴火口として想定しています。
 なお、過去1万年以内に噴火した証拠が確認されていませんが、恵比須岳も剣ヶ峰に次ぐ若い火口であり、過去1〜2万年前に活動したと考えられます。

- 凡例**
- 剣ヶ峰想定火口範囲
 - 溶岩流到達範囲
 - 火砕流到達範囲
 - 火砕サージ到達範囲
 - 融雪型火山泥流到達範囲
 - 降灰予想範囲(降灰厚さ10cm)
 - 位ヶ原スコリア等層厚線図
 - 大きな噴石到達範囲(水蒸気噴火)
 - 大きな噴石到達範囲(マグマ噴火)
 - 建物
 - 有料道路
 - 国道
 - 県道
 - 河川(河川名)
 - ☆ 避難施設

- 表示している火山現象の規模**
- 溶岩流
1億m³(噴出率:100m³/s)
 - 火砕流
200万m³
 - 融雪型火山泥流
火砕流200万m³の流下に伴う周辺地域の年最大積雪量の平均値から外挿(剣ヶ峰山頂で3.5mの積雪)
火砕流温度800°C



すべての現象が、同時に発生するわけではありません。
 溶岩流や火砕流、融雪型火山泥流の影響が及ぶ範囲を重ねて描いています。
 降灰は、風向きによって全周へ影響を及ぼす可能性があります。
 各現象の想定到達範囲を越えて、影響が及ぶ可能性があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情複 第1477号)
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平28情使 第1237号)
 国土交通省国土政策局「国土数値情報(行政区域、道路、避難施設、河川データ)」をもとにアジア航測株式会社が編集・加工した。

